

「未来を創造し、社会に貢献する人材の育成」

平成30年度 柳津町立会津柳津学園中学校

学校だより

平成31年2月7日(木)発行 第 40 号 発行責任者:高橋 弘悦

冬まつりに華を添えました

2日、3日の2日間にわたり、会津やないづ冬まつりが盛大に開催されました。開会式当日はみぞれのような重たい雪模様でしたが、例年より温かいせいか、来場者も多く、活気溢れる行事になりました。

華を添えたのは、1，2年生が製作した雪灯籠…。明るい場所で見ても見事なできではありましたが、半澤先生の「オリキリオリ」とのコラボによるライトアップはとても見事でした。

町からは、雪灯籠製作に対し、感謝状が贈呈されました。

柳学子ども工房も！

多くの屋台が出ている中に、本校の「柳学子ども工房」も出店し、手作りの桐細工の販売活動を行いました。

販売したのは、本校の有志が、柳津町産の桐を用いて製作しているストラップで、国会議員さんをはじめ、多くの方にお買い求めいただきました。



大林素子さんが来校されました！

「会津美里町の豆まきに呼ばれているんですが、そのついでに学校に遊びに行ってもいいですか？」

4日、忙しい時間を割いて、元全日本女子バレーボール選手の大林素子さんが来校されました。

中学生の皆さんには、知らない人もいるかもしれませんが、1988年のソウル大会、1992年バルセロナ大会、1996年アトランタ大会の3大会で全日本女子バレーボールのエースアタッカーとして活躍した人です。現在全日本女子バレーボールの監督 中田久美さんとともに、日本で知らない人はいないのではないかと、一世を風靡していました。

先日、町の招きで講演会をしてくださった縁で本校を知り、「ゆっくり学校を見てみたい。会津若松しか知らないの、周辺を見てみたい。」とのことで実現したものです。

現在、本校にはオリジナルの応援歌がありません。実は、密かに応援歌の作詞をお願いします。元 オリンピック選手につくっていただいた応援歌…。価値のあるものになりそうです。



冬来たりなば春遠からじ

今年は雪が少なく暖かい日が続いていると思っていた矢先、全国的にインフルエンザが猛威を振るい、近隣の学校でも学年閉鎖を余儀なくされる場所も出てきました。本校でも罹患者が出ていますので、予防対策には引き続きご協力お願いいたします。



暦の上では立春となり、差し込む太陽の光に春の気配も感じますが、会津に住んでいると、「もう一降り来るだろうな…」という感覚から抜けきれません。そういう時に思い出す言葉が「冬来たりなば春遠からじ」。今まさに寒さのまっただ中ですが、この寒さに耐える力こそが春をより暖かいものにしてくれるのではないのでしょうか。

さて、1、2年生は来週早々に学年末考査、3年生は、来月7日に迫った県立高校Ⅱ期試験に向けて、最後の踏ん張りをする時期となりました。Ⅰ期選抜では、多くの3年生が受験し、内定を手にした生徒もいますが、入試はこれからが本番です。

学校では、内定者も含め、学校全体で学習の雰囲気作りをしています。3年生はもちろんですが、1、2年生は直前に迫った学年末考査、そしてその先、進級後に予定されている全国学力学習状況調査、福島県学力学習状況調査に向けて、最後まで頑張らせたいと思います。

厳しい冬を体験してこそ、春の喜びは大きいものです。今力をしっかりため込んで、みんな輝く春を迎えたいと思います。